

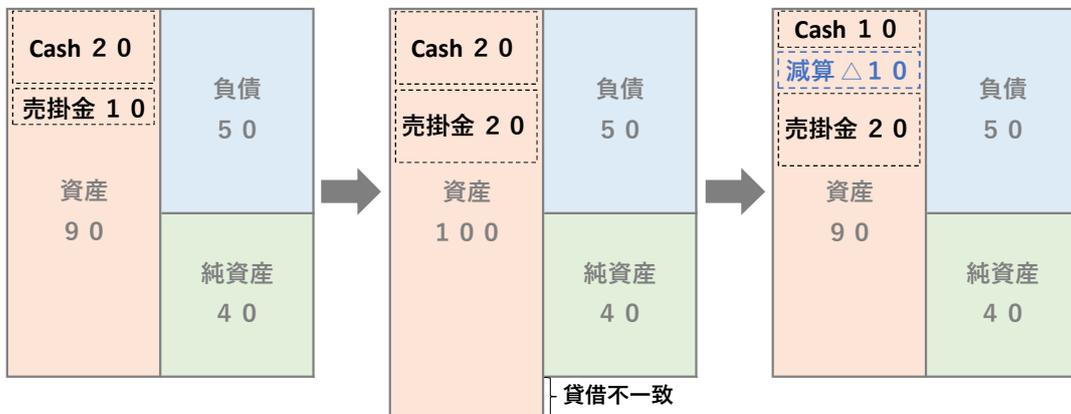
「営業活動に係る資産および負債の増減額」の覚え方

- ・資産が**増加**したら**減算**
- ・資産が**減少**したら**加算**
- ・負債が**増加**したら**加算**
- ・負債が**減少**したら**減算**

上記の資産・負債と加算・減算の関係は、貸借の一致で理解すると覚えやすいです。
例えば売掛金が10から20に「増加」した場合、そのままでは資産が10増えて貸借が不一致になってしまうため、キャッシュを10「減算」する必要があります。（下図参照）

【資産の増加】⇒ Cash減算

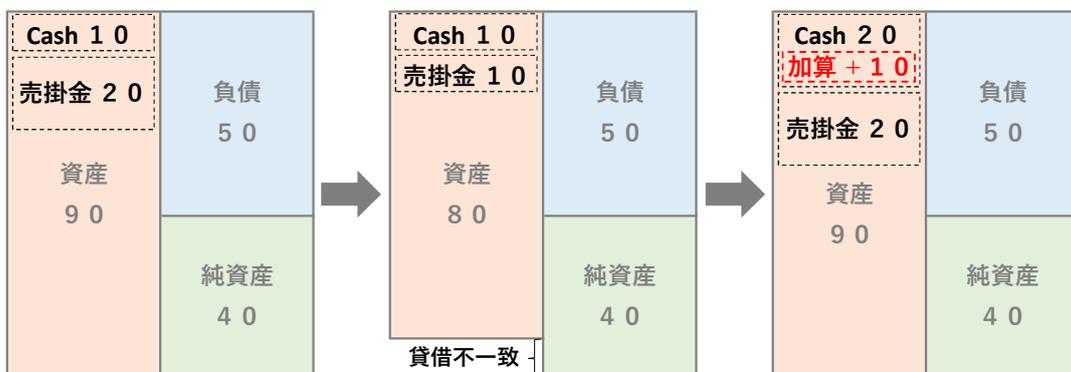
（↓例：売掛金が10から20に「増加」）



他の3つのパターンについても同様に、貸借の一致で理解することができます。

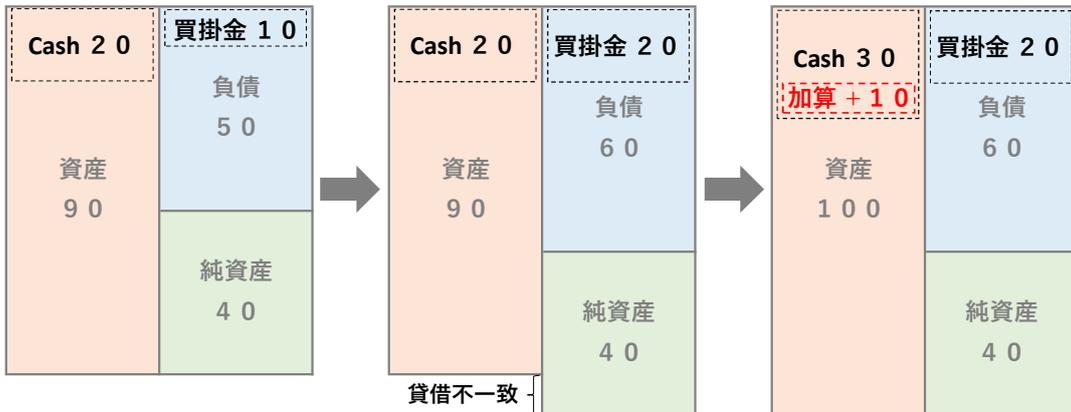
【資産の減少】⇒ Cash加算

（↓例：売掛金が20から10に「減少」）



【負債の増加】 ⇒ Cash加算

(↓例：買掛金が10から20に「増加」)



【負債の減少】 ⇒ Cash減算

(↓例：買掛金が20から10に「減少」)

